日本キリスト教団 東金教会〔６〕

2019年2月10日降誕節第７主日礼拝

年度目標 《キリストに根を下ろして生きる》

聖句 キリストに根を下ろして造り上げられ、教えられた通りの信仰をしっかり守って… コロサイ2章7節

【礼拝式次第】

司式	藤田	
奏楽	中村	
受付	阿部	
案内	王	
名札係	藤田	
礼拝感謝祈祷	森川	
〃 〃	寺内	
前奏	中村	
讃美歌 7	一同	
使徒信条 566	〃	
交読文 6	司・会衆	
主の祈り 564	一同	
聖書 コロサイ書 2:16〜19	司会者	
祈祷	藤田	
新聖歌 355	一同	
み言葉の伝え	中村	
〈神に育てられて〉		
讃美歌 530	一同	
献金		
礼拝感謝	森川	
〃 〃	寺内	
報告	藤田	
頌栄 541	一同	
祝祷(派遣)	中村	
後奏 新聖歌58	聖歌隊	

【集会案内】

聖書研究祈祷会 2月13日(水)午後7時半〜
早天祈祷会 月-金7時(除祭日)メーヤー館
聖歌練習 本日礼拝後
法人理事・評議員会 定期長老会と合同
定期長老会 本日礼拝後
聖書輪読会 2月17日(日)9:50-10:10
礼拝準備祈祷会 2月17日(日)10:25-10:30

【報告】

☆本日礼拝後定期長老会に併せて東金教会学園理事、評議員会を持ちます。理事、評議員、監事の方々は宜しくお願い致します。

☆講演会案内
下記により講演会がございます。興味をお持ちの方はご出席下さい。
時間・３月２２日(土)13:30−15:30
場所・睦沢ゆうあい館
講師・いわむら かずお 氏
題 ・「絵本・自然・子ども」
※詳しくは掲示板をご覧下さい。

☆聖書協会最新訳聖書「聖書協会共同訳聖書」見本が受付にございます。購入希望の方は掲示板申込書にご記入下さい。

☆2月22日(金)教会学校生徒及びＣＳ教師、幼稚 園・保育園教師を中心に焼肉パーティーが予定されております。午後７時開始です。お肉200グラムの持ち寄りです。お時間のございます方はぜひご参加下さい。

☆イースター(４月２１日)に受洗希望の方は中村牧師まで申出下さい。

【分区・支区・教区報告】

○支区教師研修会 2/18-19 於・鴨川

【2月10日〜2月16日の誕生者】

○井上兄 ○岩崎姉 ○田中姉
○藤田姉 ○石黒姉 ○内田姉 ※おめでとうございます。主に繋がる枝々であることを覚え、皆で祈り合わせて参りましょう。

【先週集会状況】

集会名	男	女	計
主日礼拝(2/3)	15	27	42
聖研祈祷会(2/6)	1	3	4
聖書輪読会(2/3)	2	4	6
教会学校(2/3)	9	13	22

早天祈祷会			
日	男	女	計
2/4	1	1	2
2/5	1	1	2
2/6	1	1	2
2/7	1	1	2
2/8	1	1	2

主日礼拝献金(２/３)……３１,０００円
教会学校献金(２/３)……７,１００円

【今日のメッセージ】

題 ［神に育てられて］
聖書 コロサイ書2:16〜19
1・来たるべきものの影

2・実体としてのキリスト

3・神に育てられて

【次週(2月17日)礼拝案内】

題 〈教えるキリスト、聞く私〉
聖書 ルカ福音書8:4〜15
交読文 7
讃美歌 ６８番 ５０１番
新聖歌 ２５５番

【次週(2月17日)礼拝式当番】

御言葉の伝え…	朴
司式者…	藤本
奏楽者…	中里
受付者…	津井
案内者…	三久
名札当番…	藤枝
礼拝感謝祈祷…	安本
〃 〃 …	梅延
ｃｓお話し…	森田
会堂清掃者…	薬川寺
〃 〃 …	師
花係…	猪野
看板書き…	澤本

【聖書から】

神はキリストと共に(私たちを)生かしてくださったのです。…(神はわたしたちの)一切の罪を赦し…キリストの勝利の列に従え、公然とさらしものになさいました。

コロサイ書二章一三〜一五節

使徒パウロはわたしたちをして「キリストと共に生かしてくださった」と云う。死しし者に再び生命を与えることなど不可能なことである。死し者はもはや立つことを得ず、土中に横たわり、腐敗し消え去るのみである。けれどもこのような者が再び生を受ける起死回生の手がある。「キリストと共に」あることである。これ以外手はないのである。畏れ多いことながら父なる神といえどこれ以外の手段をもって死しし者をよみがえらせることはできないのである。わたしたちはこのキリストの力のすごさを知っているであろうか。全く知らないのである。信仰者といえどもその細々とした信仰の陰にその幾千万倍幾億万倍の力が隠されているかを知らないのではなかろうか。けれどもこのような我らを慈しみ、その隠されている幾億万倍の力を揮ってイエス・キリストは我らを死から生かさしめ、それだけでなく罪の縄目死の縄目より勝利したキリストの勝利の凱旋行進の列に我らを組み込んで下さった。そしてその時の我らの姿は決して見栄えのするものではない。堂々たる、或いはきらびやかな勝利の鎧ではなく汚れた罪のボロ、死のボロを纏った姿である。けれどもその惨めな姿の中には生命が宿っていた。それは言うまでもなく主イエスの勝利によってうばいかえされた命、滅びの中よりよみがえった命である。パウロはこのような命のよみがえりの消息を我らに告げる。その命の鼓動がどのようなものかを、その深い恵みを知ろうともしない我らにその命を返されたのである。そして信仰者の生涯は此処から始るのではなかろうか。其処から先、わたしたちはどれほど地上を生きるだろうか。どれほどこのような主に感謝を捧げられるであろうか。どれほど主の恵みを知るであろうか。神の憐れみによって幾許かの信仰を育てられ神にお応えする者になりたい。

【礼拝心得】

①礼拝は前奏から後奏までを守る。
②入堂したら私語を交さず、前奏までの時を黙想する。
③遅れてきた者は静かに入堂し、特に祈祷の時は入堂を控え、その場で共に祈りを守る。
④礼拝後は互いに挨拶を交し、交わりの時を持つ。
⑤各自週報棚を整理し、欠席者に週報を届ける。